

☆教職コースの受講許可を受けた学生は P.100～103 の「履修案内」を見ること

## 履 修 案 内

### ●カリキュラムの特徴

(1) 生物資源学科科目群には、必修科目、選択科目があります。

|                                                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 必修科目（講義・実験・実習・演習・研究）                                                                                 |
| 生物資源学科で学ぶ上で最も基本となる科目。必ずすべて修得すること。                                                                    |
| 選択科目                                                                                                 |
| 各自の必要に応じて履修する科目<br>（生物環境システム学科科目群・生命化学科科目群・教職関連科目・コア科目の余剰単位（上限8単位）・他学部開講科目を修得した場合は、選択科目として卒業要件に含まれる） |

(2) 領域配属（教職コースを除く）

生物資源学科には、「遺伝子・細胞工学領域」「植物機能開発科学領域」「動物・昆虫機能開発科学領域」の3領域があります。第4セメスター終了時の進捗チェックを充足すると、第5セメスターから領域に配属されます（配属後に領域を変更することはできません）。

- ① 第4セメスターに領域配属の希望調査を行い、必要に応じて人数調整の後、配属案が決定されます。
- ② 領域配属は定員制とします。これは学生が特定の領域に偏ることを避け、教育の質を維持するためです。具体的な人数は改めて連絡します。
- ③ 「担任指導」などの時間を利用して、領域に関する情報提供をするほか、第3セメスター終了時に領域紹介ガイダンスを行う予定です。詳細は改めて連絡します。

### ●卒業要件

卒業要件を充足した場合は、学位として学士（農学）が与えられます。

- ① コア科目のうち、全人教育・FYE科目群10単位を修得していること。
- ② コア科目のうち、言語表現科目群・社会文化科目群・自然科学科目群・総合科目群の各科目群から4単位以上を含み、24単位以上（上限32単位まで）を修得していること。
- ③ 生物資源学科科目群の必修講義科目38単位を修得していること。
- ④ 生物資源学科科目群の必修科目の実験・実習・演習・研究科目（卒業研究を除く）12単位を修得していること。
- ⑤ 卒業研究6単位を修得していること。
- ⑥ 上記要件を充足して、合計124単位以上を修得していること。

## ●卒業までの単位配分

卒業までに必要な単位数は、第1 Semesterから第8 Semesterまで、合計124単位で、生物資源学科の場合その内訳は次のとおりです。

|                                                                        |                                                                 |
|------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| コア科目                                                                   |                                                                 |
| 全人教育・FYE科目群<br>言語表現・社会文化・自然科学・総合科目群                                    | 10単位<br>24単位（各科目群から4単位以上、上限32単位）                                |
| 生物資源学科必修科目                                                             | 56単位                                                            |
| 必修講義科目<br>必修実験・実習・演習・研究科目                                              | 38単位<br>18単位（卒業研究を含む）                                           |
| 選択科目                                                                   | 任意                                                              |
| 生物資源学科選択科目<br>他学部・他学科開講科目<br>教職関連科目<br>コア科目の余剰単位（上限8単位）<br>他大学との単位互換科目 |                                                                 |
| 計                                                                      | 124単位<br>（ただし、32単位を超えるコア科目：言語表現・社会文化・自然科学・総合各科目群の単位数はこの合計に含まない） |

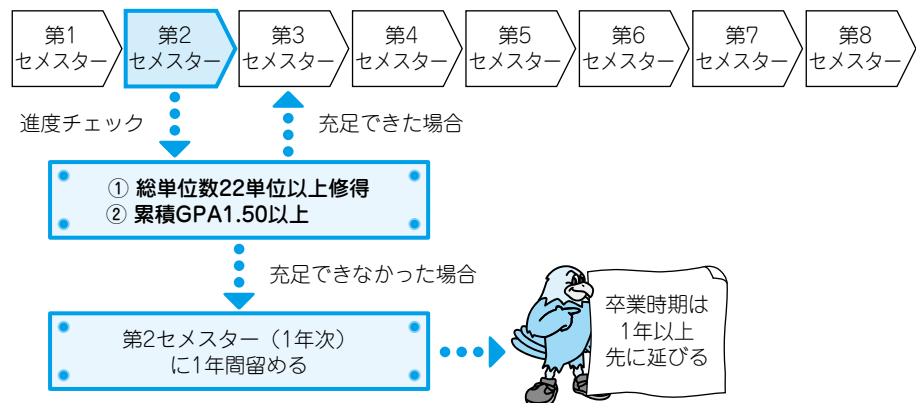
コア科目の余剰単位の扱い

☞ p.67

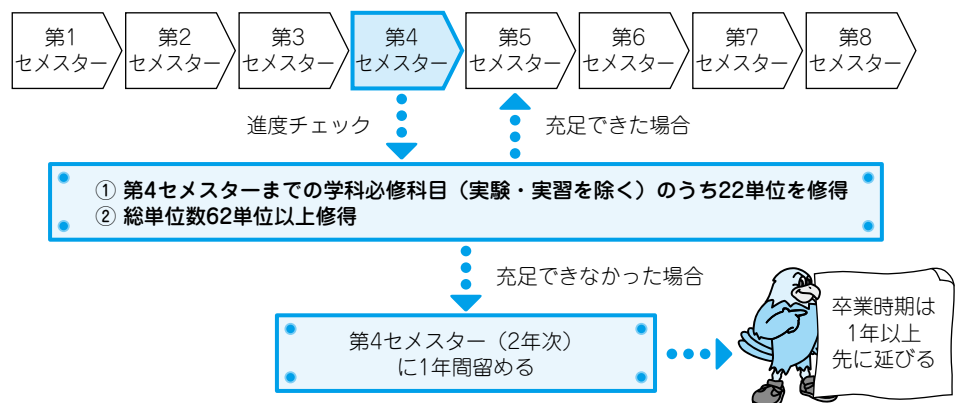
## ●進捗チェック

第2 Semester、第4 Semesterおよび第6 Semester終了時に単位修得状況の確認が行われ、履修条件を満たさない場合は、確認時のSemesterに1年間留まります。

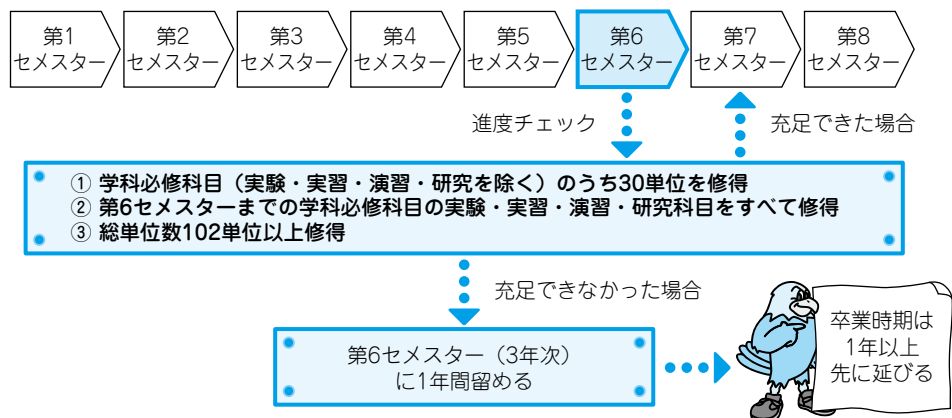
### (1) 第2 Semester（1年次）終了時における進捗チェック



### (2) 第4 Semester（2年次）終了時における進捗チェック



(3) 第6セメスター（3年次）終了時における進捗チェック



●履修上の留意事項

①コア科目のうち、農学部生が履修してはいけない科目は次の2科目です。

「生物学入門」「化学入門」

②各学科の時間割中、◇のマークで示した科目は、抽選のないコア科目です。

|                                |                          |
|--------------------------------|--------------------------|
| ◇「総合英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」<br>◇「英語コミュニケーション」 | コア・言語表現科目群               |
| （農学部では英語を重視していますが、必修科目ではありません） |                          |
| ◇「経済学」<br>◇「科学技術史」             | コア・社会文化科目群<br>コア・自然科学科目群 |
| （各学科の「重点科目」ですが、必修科目ではありません）    |                          |

これらの科目については、履修登録の際、他の学科科目と同様に登録してください（抽選を行いません）。ただし、「英語コミュニケーション」は定員制です。

③修得済みの科目については、原則として再履修することはできません。

ただし、第2セメスターの進捗チェックで履修条件を満たせずに第2セメスターに留まった場合には、第1セメスター、第2セメスターに修得した農学部開講科目のうちC評価科目を再履修することができます（コア科目は再履修できません）。

再履修によってB以上の評価を得られた場合には、再履修の結果をもってその科目の評価とします。その結果、GPAの数値を上げることが可能です。

④「卒業研究」は、第7セメスター・第8セメスターともに必ず履修登録してください。

⑤時間割（時間帯・教室など）については変更等をお知らせする場合がありますので、掲示を十分確認してください。

⑥教職関連科目群のうち実験・実習および教科指導法の科目は、農学部教職コースの受講許可を受けた学生だけが履修することができます。